

今こそ、鉄道は大きく変わらなければならない

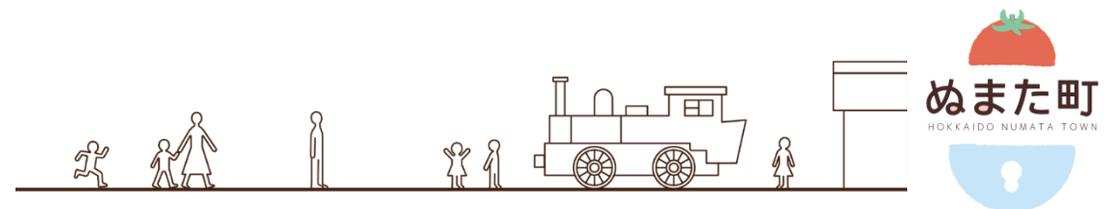
鉄道ルネサンス構想

沼田町からの提案
Presentation

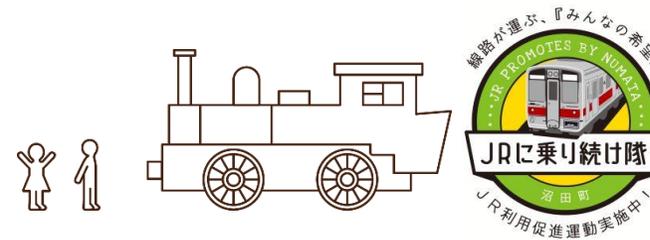


鉄路は北海道の礎、未来へつなごう先人の思い

2021年9月7日
北海道沼田町



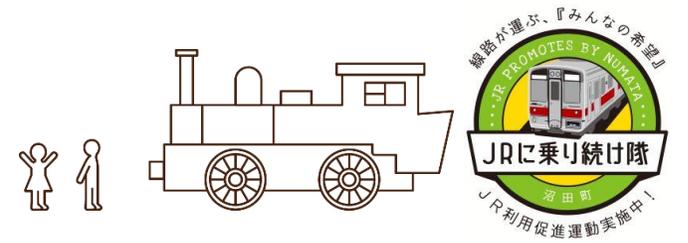
～はじめに～



- 鉄道の車窓から見える北海道の美しい自然、農村風景は、北海道の魅力そのもの
- 鉄道を失くすことは、魅力的な北海道の資源を失くすことに等しい
- 鉄道は今、あり方を考える時期にきている
- 新しい時代に併せた鉄道に「進化」させるべき
- 「オール北海道」でJRがこうありたいと思えるよう、北海道民が一緒になって考える場をつくっていききたい
- 既存の制度にとらわれない新しい制度を考える



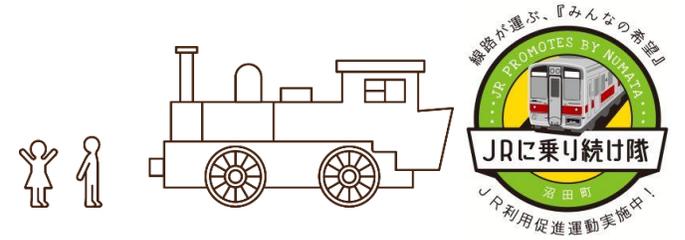
～我々の願いとは～



今こそ「鉄道に革命を起こす」
チャンスの時期(とき)である！



〜いま何が必要〜



・JR北海道

コロナによって激変した時代ニーズに合わせるスピード感！

・自治体(北海道)

公共交通を使ってもらえるまちづくりがより重要！

・地域住民(道民)

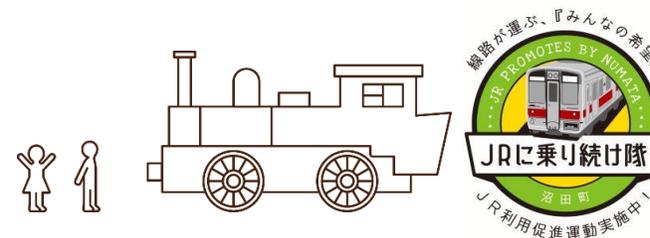
公共交通を残すためには利用することが基本！

・国(議員各位)

国等は公共交通の将来をどう守ってくれるのか？



～利用者がどのような 鉄道に乗りたいのか～



【現状の利用者の認識】

• 自家用車との比較

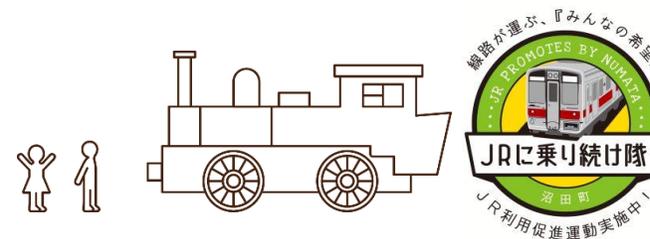
- ⇒ 料金が高い（特に複数人の世帯で利用する場合）
- ⇒ 遅い（高速道路網の発達）

• 利便性

- ⇒ 駅からのアクセスが不便
- ⇒ 切符の種類が複雑で購入が面倒
- ⇒ 時間的な制約が大きい（特に本数の少ない路線）



～利用者がどのような 鉄道に乗りたいのか～

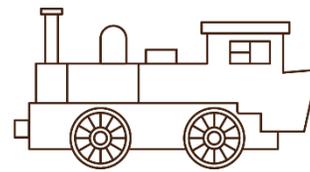


・利用者特典

- ⇒ 周遊切符は便利だが、3日間有効であっても観光時間等を考慮すると割安でもない
- ⇒ ポイント制度は存在するが会員制による特権もなく、自動車利用からシフトするほどの影響力はない



～今こそ鉄道は大きく 変わらなければならない～



• 時代の変化

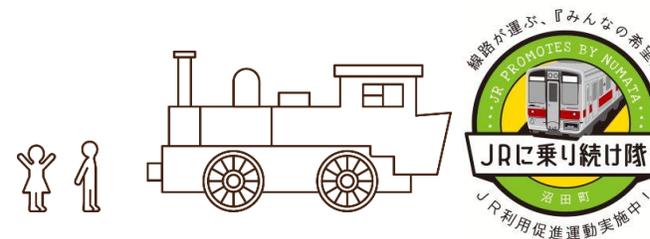
- ⇒ 鉄道網が道内に引かれたのは主に明治、大正、昭和中期まで
- ⇒ 自動車の普及、高速道路網の整備など周辺環境は激変

• 鉄道の現状

- ⇒ 鉄道運賃制度は国鉄時代と同じ距離制が基本
- ⇒ 鉄道は固定率が高い産業であり、大量輸送機関にならざるをえない
- ⇒ 大量輸送機関であるがゆえに、輸送密度が低くなりがちな地方ローカル線が弱点



～提案の趣旨～



鉄道ルネサンス構想(鉄道復興プラン)を提案

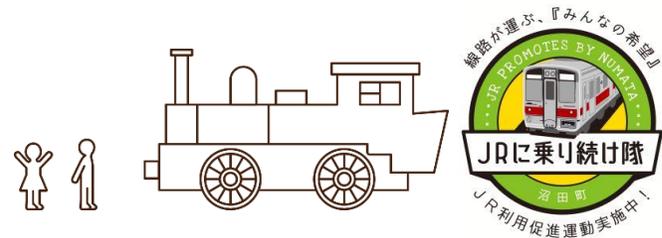
・2つの要素

⇒ 「持続可能な鉄道を守る」ために『新たな収入源』を確保する。

⇒ 「道民の鉄道という意識」を『オール北海道』で向上させる。



～北海道沼田町からの
具体的な提案内容①～



『鉄道会員制度フリーダムパスポート』の導入

⇒ 運賃収入に加えて、会員費を収入とする

(例) 北海道民全員が会員となって負担したら

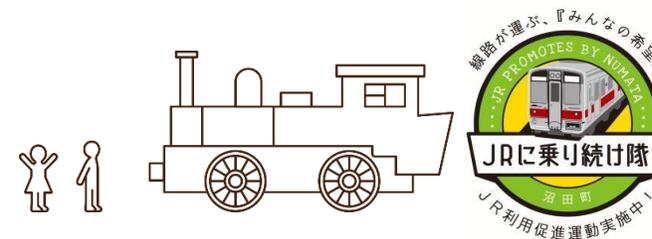
営業収入420億円 ÷ 530万人 ≒ 8,000円/人
 ÷ 270万世帯 ≒ 15,500円/世帯

※ 定期券利用者等から会員制にシフトする者が一定数発生するため、実際は上記の金額より負担は多くなる。

- ⇒ 会員には、北海道全線を利用できる乗り放題定期（フリーダムパスポート）を発行
- ⇒ 今までの距離別による運賃収入だけでなく、鉄道会員制度による会員費が収入源
- ⇒ 従来からの鉄道利用者だけでなく、今まで鉄道を利用していない者が利用することで、モーダルシフトを推進し、脱炭素社会（ゼロカーボン）やSDGsに寄与



～北海道沼田町からの 具体的な提案内容②～



・鉄道会員制度の詳細

⇒会員には、会員費に応じて全線利用可能な年間通して利用できる定期（顔写真付き）を発行

・会員費の設定

1. 利用できる曜日数で分けるプラン(例)

①フリー7(無制限プラン)

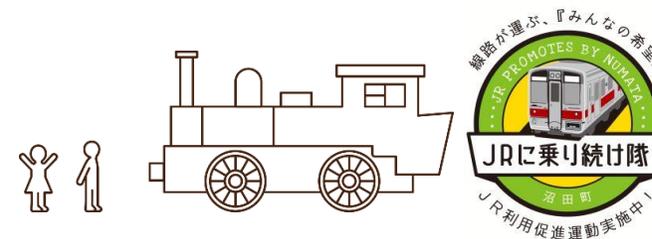
時間も制限なく毎日利用できる。通勤、通学者向け

②フリー1～5

利用できる曜日を指定することで定期的な通院や買い物、休日に利用する人向け



～北海道沼田町からの 具体的な提案内容③～



2. 利用できる時間で分けるプラン(例)

①利用時間制限なし

通勤、通学者向け。曜日の制限なし

②利用時間10:00～18:00

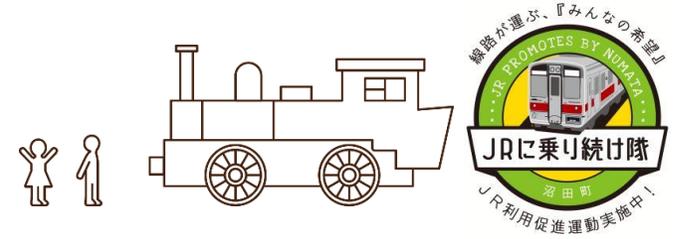
通勤時間帯を外した時間帯で利用できる。曜日の制限なし

※定期的にICチップを用いて自動改札機でチェックする

※駅員や車掌が改札・検札するため、定期的の色を変えておく



～北海道沼田町からの 具体的な提案内容④～



3. 利用する対象者で分けるプラン

①シルバープラン

65歳以上の方向けのプラン

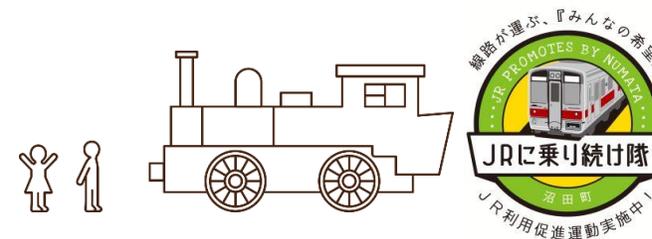
※曜日や時間でさらに分けて、利用頻度に応じたプラン設定が可能

②ファミリープラン

2人以上のファミリー向けには、1人1人で購入する場合に比べて安価で購入が可能なプラン。曜日や時間でさらに分けて、利用頻度に応じたプラン設定が可能



～北海道沼田町からの 具体的な提案内容⑤～

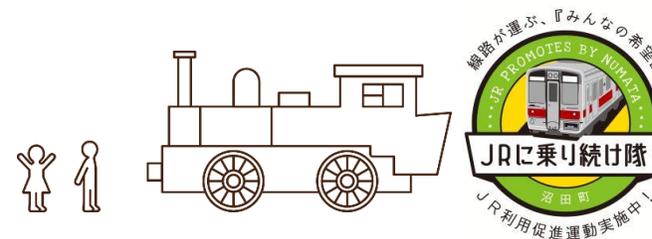


・留意点

- ⇒ 会員制度を魅力的にするには、スケールメリットと広いネットワークが必要（北海道全線はうってつけの大きさ）
- ⇒ できるだけ多くの料金プランを設定することにより、利用者の選択肢の幅が広がる
- ⇒ 会員費は高くても安すぎても効果がない。列車輸送のキャパシティを見ながら適正な会員数を模索する必要がある
- ⇒ 入会当初は会員費は高めに設定し少しずつ下げていく仕組みも必要



～鉄道会員制度を 導入した場合の利点～

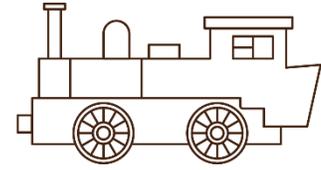


・利用者側の利点

- ⇒ 一定の年会費であるため利用すればするほど割安に利用できる
- ⇒ 長距離ほど車の運転の負担感の軽減
- ⇒ JR北海道全線が乗り放題であるがゆえ各路線沿線へ訪れる動機付け
 - 全線を乗り潰していくワクワク感
 - 現在の道の駅が人気のように、本来（鉄道）の駅を巡る楽しみが復活



～鉄道会員制度を 導入した場合の利点～

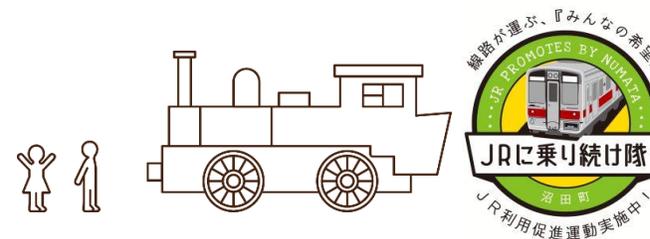


・JR北海道の利点

- ⇒ 会員の増加により鉄道収入が増加
- ⇒ 景気に左右されにくい安定収入（自動更新による会員継続）
- ⇒ 長期会員に割引制度を付与することによる
利用者の取り込みが容易
- ⇒ 駅中ビジネス等による関連収入増加
（JRの利用者の増加分でさらなる展開が可能）
- ⇒ 日本・世界の鉄道の新たなモデルとなり脚光を浴びる
- ⇒ 鉄道が北海道の観光産業に持続的な発展をもたらす



～鉄道会員制度を 導入した場合の利点～

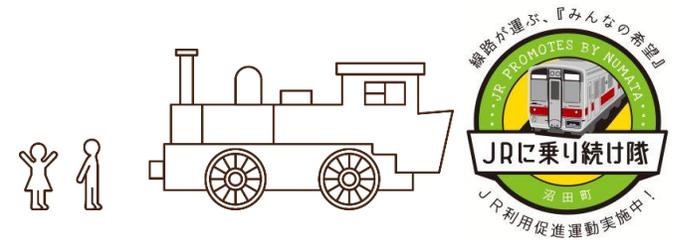


・自治体の利点

- ⇒ 乗り降り自由なため、利用者の途中下車が容易に可能。そのため、JRと協力し、駅を活用した魅力アップに取り組める
- ⇒ 駅に併せた魅力的なまちづくり
- ⇒ 北海道全体の人流が活発になり、観光を含めて地域経済が活性化する
- ⇒ 何度も利用可能であるフリーダムパスポートの特性を生かしたりピーター等による交流・関係人口の増
- ⇒ 脱炭素社会（ゼロカーボン北海道）やSDG s の推進（車から鉄道へのモーダルシフト）



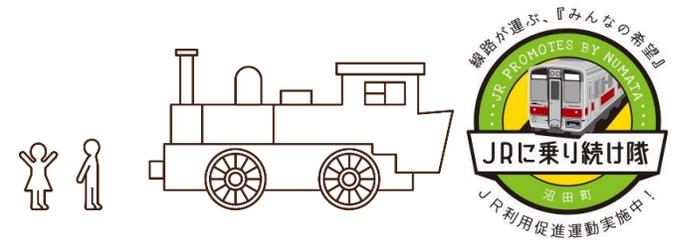
～まとめ～



- ・現在の鉄道を上下分離により存続させても延命措置を施すだけとなり利用者は増加しない
- ・住民を巻き込むために、積極的に自治体も鉄道会員制度普及に協力（会員数が安定してJR北海道の経営が安定するまでは特に重点的に）
- ・ゼロカーボンやSDGs（持続可能な開発目標）に向けて様々な交通機関を連携させていくことが必要となる（Maas等）
- ・異常気象により毎年多くの災害が発生。鉄道が地域輸送の大動脈となり多くの人と物を運び、地方のバスやタクシー、トラック運送事業者などを後押ししていく必要がある



～未来に向けて～



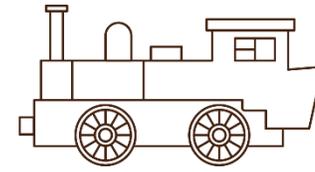
「北海道の未来を託す会社であってほしい！」

- ・・・今こそJR・道民・行政が一致団結し、
オール北海道に理解者を広める絶好のチャンス！・・・



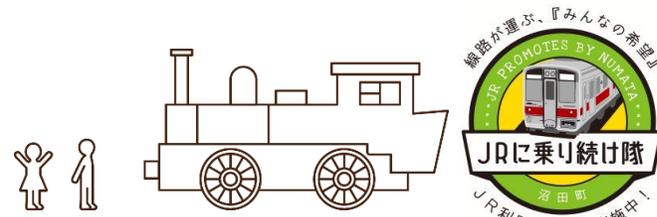
～最後に～

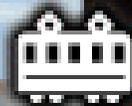
北海道沼田町からのエール



- ・ JR北海道のこれまでの経営努力に敬意
- ・ 新しい鉄道を築いてもらうことへの期待
- ・ 今こそ、鉄道が大きく変わらなければならない時
- ・ 北海道は第一次産業と食、観光産業で成り立っており、鉄道が果たす役割は未来に向けて非常に大きい
- ・ 地方創生時代において交流、関係人口の構築には鉄道が不可欠
- ・ 旅の魅力のひとつは知らない人との出会い
- ・ あなたもJRで出かけてみませんか？
- ・ 道民とJR北海道が手をたずさえて未来の北海道を創っていくことを沼田町は応援します！！





 JRの列車に乗ろう!! 

沼田町は JR 北海道を応援しています

鉄路は北海道の礎、未来へつなごう先人の思い

北海道沼田町
JRに乗り続け隊

